

年表

横浜の歩み

●安政—慶応

- (二八五九) 安政6—六月二日開港。横浜町を海辺通、北仲通、本町通、南仲通、弁天通の五筋に分け、横浜道、神奈川からの通船など海陸交通路開かれる▽手塚清五郎、初の生糸先込
- 万延1—幕府、五品江戸廻送令を發布し、生糸などの神奈川直貿易禁止。横浜商人これに猛反対▽歩合金制実施
- 文久1—関内の空地ふさがり、埋立進む
- 文久2—生糸貿易拡大▽生麦事件▽幕府、英学校設立
- 文久3—外国軍隊、居留民保護を名目に横浜上陸▽幕府、生糸輸出抑圧、三か月後撤回
- 元治1—パリで横浜領港談判▽九月、幕府の貿易制限崩壊▽洋銀相場取引開始
- 慶応1—根岸に外人遊歩新道▽横浜製鉄所完成
- 慶応2—太田陣屋内に三兵伝置所▽豚屋火事、関内の大部分焼く▽「第二回地所規則」締結、現在の関内地区の骨格定まる▽根岸競馬場開設
- 慶応3—吉田新田沼地埋立▽回漕用達汽船、横浜・品川、横浜・大坂間往復(郵船のはじめ)

●明治

- (二八六八) 1年—明治維新。神奈川県設置。管轄は神奈川四方十里の地▽横浜町の人口二万八千八百九人▽神奈川大火
- 2年—下岡蓮村ら京浜間乗合馬車を営業▽吉田橋鉄橋に▽本町に電信局設置
- 3年—伊勢山皇大神宮鎮座▽西洋花火▽天然痘流行、小児に種痘▽「横浜新聞」創刊(4年「横浜毎日新聞」に)
- 4年—多摩・高座郡、神奈川県に編入▽野毛浦埋立▽横浜市街地実測
- 5年—新橋・横浜間に鉄道開通▽ガス灯点火▽ビール製造開始▽ゲーテ座開く▽旧居留地の陶管下水工事完成
- 6年—相生町の火事、約二千戸焼く▽日本波戸場築造▽吉田新田一つ目沼地六万二千坪埋立
- 7年—横浜共立病院、十全病院と改む▽横浜為替会社、第二銀行と改む▽蚕種紙四四方枚焼く
- 8年—英仏軍隊撤兵▽区会開く
- 9年—足柄原廃止。神奈川県に併合▽平沼町地先海面埋立▽彼我公園(現横浜公園)開く
- 10年—ガス局事件▽元町の火事
- 11年—歩合金事件▽横浜第七十四国立銀行設立
- 12年—第一回神奈川県会▽横浜正金銀行設立
- 13年—横浜商法会議所、同仲会社設立
- 14年—横浜生糸荷預所事件
- 15年—県庁焼く▽横浜商法学校創立(Y校の前身)
- 17年—伊勢佐木町の火事、七九〇戸焼く
- 18年—三菱、共同運輪合併、日本郵船会社設立
- 20年—我が国初の近代水道完成
- 21年—野毛の大火、一一二〇戸焼く

- 22年—市制施行(人口一萬六千九百三十三)。初代市長に増田知▽共有物事件起る▽東海道線、新橋・神戸間全通
- 23年—横浜水道、県から市へ移る▽はじめて電灯点火▽東京・横浜間の公衆電話開始▽「横浜貿易新聞」創刊
- 24年—十全病院、市営に▽横浜ドック会社設立
- 25年—ガス局、市営に▽ヘボン夫妻帰国▽横浜共同倉庫会社開業式
- 26年—三多摩郡、東京府へ移る▽築港工事セメント亀裂事件
- 27年—元町の大火、一〇四六戸焼く▽横浜築港棧橋完成▽絹ハンカチの輸出盛ん
- 28年—横浜商業会議所、横浜生糸検査所設立▽横浜水道の水源を道志川に変更
- 29年—ベスト発生▽横浜貿易倉庫、横浜電線製造会社設立▽初の野球競技会(外国人と二高生の間で)▽横浜修築第一期工事完成
- 30年—神奈川県尋常中学校(神中)開校
- 31年—県庁候所、天気予報開始▽小学校に校医を置く
- 32年—不平等条約改正、外国人居留地撤去▽雲井町の大火、三二七三戸焼く▽ビヤホール開業
- 34年—第一回市域拡張▽横浜赤系銀行破綻
- 35年—横浜電気鉄道設立(市電の前身)
- 36年—市原盛宏、四代市長に
- 37年—横浜電鉄神奈川・大井橋間開通▽綱島で桃栽培
- 38年—日露講和条約反対焼打事件▽京浜電鉄品川・神奈川間開通
- 39年—三溪園公開▽横浜精糖、横浜倉庫、東西石油設立
- 40年—子安海面埋立につきトックと漁民の間で紛議▽キリンビール設立
- 41年—横浜鉄道神奈川・八王子間完成▽古河電線製造設立▽活動写真館喜望峯館設立
- 42年—開港五〇年記念祭▽井伊大老銅像除幕式▽オテオン座設立▽総持寺、鶴見へ移転▽市紋章、市歌制定▽麻真田輸出
- 43年—野毛の火事で五四六戸焼く▽富士紡保土ヶ谷工場設立
- 44年—第二次市域拡張▽明治屋設立▽市役所新築
- 45年—横浜電気工業、日本鋼管設立▽鶴屋町埋立完成

●大正

- (一九一三)
- 2年— 関内の火事で二四二戸焼く
- 3年— 磯子間坂地先海面埋立▽戸部町の商工業者、営業税の廃止要求▽横浜駅高島町に新築▽東京横浜間電車運転開始▽松尾鉱業会社設立
- 4年— 第一次帝資会社、横浜生糸会社設立
- 5年— 浅野造船、東海鋼業、相模紡績会社設立▽YMC A設立
- 6年— 開港記念会館開設▽横浜ゴム、日本人造船、京浜運河会社設立
- 7年— 米騒動▽保土ヶ谷曹達工場焼打事件▽戸塚松並木、天然記念物に指定
- 8年— 埋地の大火、三三四八戸焼く▽市区改正事業開始
- 9年— 横浜港沖仲仕争議▽茂木合名破綻▽生糸恐慌▽横浜興信銀行開業▽第二次帝資会社設立▽開港記念バザー開催
- 10年— 電車、市営に▽横浜社会館設立▽大正活映会社設立▽住民、鶴見川改修工事の延期に反対
- 11年— 横浜ドック争議▽浅野造船所工場閉鎖▽帝資会社解散▽鶴見小学校第一校舎の敷地問題で紛議
- 12年— 九月一日関東大震災(全焼六万二〇八戸、死者二万三三八八人)▽相武電力会社設立
- 13年— 十全病院、野毛より浦舟町へ移る(開院は二五年)▽日石鶴見製油所開業▽東京・横須賀、東京・国府津間鉄道電化▽横浜高商開校
- 14年— 日本フォード自動車会社設立▽森水製菓鶴見工場開く▽滝頭町住民、横浜市じん芥処理焼却場の設置に反対▽六浦荘村釜利谷住民、小学校の廃止に反対▽有吉忠一、一〇代市長に▽鶴見に土工騒擾事件
- 15年— 郡役所廃止▽久保山合祀霊場新設▽京浜新国道完成▽野毛山公園開く

●昭和

- (一九一七)
- 2年— 鶴見・保土ヶ谷町など編入、五区制をしく▽東横電鉄渋谷・神奈川間開通▽ニユーグランドホテルオープン▽市立図書館新築▽久保山斎場新築
- 3年— 横浜駅新築▽県庁新庁舎落成▽市営バス開始
- 4年— 世界大恐慌▽横浜市復興祝賀会▽横浜市児童遊園地開く▽神中鉄道厚木・西横浜間開通
- 5年— 湘南電鉄、浦賀・黄金町間開通▽鶴見臨港鉄道、鶴見・扇町間開通▽山下公園、神奈川公園開く▽金沢文庫開く
- 6年— 京浜電鉄横浜駅・日ノ出町間開通▽第一二代市長に大西一郎▽宮田町で大火、一三九戸焼く▽中央卸売市場開設
- 7年— 鶴見川河口の埋立完成。京浜工業地帯の確立▽保土ヶ谷・戸塚間の国道完成▽東横電鉄渋谷・桜木町間全通▽横浜線東神奈川・原町田間電車運転に▽三ツ池遊園地開く▽学校給食開始
- 8年— 山手教会献堂式▽八聖殿建立▽戸塚競馬場完成
- 9年— 日吉村合併にからむ暴動事件▽横浜税関新庁舎落成▽県市獄事件起る
- 10年— 復興記念横浜大博覧会▽第一二代市長に青木周三▽県下に根拠を流し▽横浜刑務所併下に新築▽金沢町など三か町村編入
- 11年— 横濱港大橋完成▽横浜刑務所併下に新築▽金沢町など三か町村編入
- 12年— 永代借地権解消調印▽日吉村の半分編入▽新山下町にヨットハーバー落成
- 13年— 鶴見川はんらん、東海道線不通
- 14年— 川和町外一六か町村編入、港北・戸塚区新設
- 15年— 東京開港反対市民大会▽市電朝急行運転
- 16年— 東京港開港▽半井清、一三代市長に▽京浜電鉄、湘南電鉄を合併
- 17年— 市民博物館開く
- 18年— 南区新設▽省線新子安駅開業
- 19年— 西区新設▽市ガス局廃止▽市立医専開校▽本牧臨海公園開く▽学童集団疎開
- 20年— 五月二九日横浜大空襲、九万八三六一戸焼く▽ボツダム宣言受諾▽米占領軍入市、ニユーグランドホテルを一時司令部に、市の中心部および港湾施設を接収
- 21年— 復活メーデーに四万人参加▽生糸検査所復活
- 22年— 初の市長公選、石河京市当選▽横浜正金銀行閉鎖▽相模ダム完成
- 23年— 金沢区新設▽横浜のBC級戦犯裁判終る▽生糸問屋制復活
- 24年— 鶴見大橋完成▽人民電車事件▽生糸相場再開▽日本貿易博覧会開催▽三ツ沢公園開く
- 25年— 横浜港の管理権、市に▽朝鮮戦争はつ発▽講和条約、日米安保条約締結▽横浜国際港都建設法公布▽花月園競輪場開く▽初の生糸アメリカ向け民間輸出
- 26年— 野毛山動物園オープン▽桜木町国電火災事件。死者一〇六人▽横浜生糸取引所再発足▽市、人口再び一〇〇万人突破▽平沼亮三、一五代市長に
- 27年— 大橋橋接解除▽幹線道路計画決まる▽日米生糸輸出組合発足
- 28年— 講和により接解除地の整備事業起工
- 29年— 高島三号橋出田町ふ頭完成▽山下公園三分の一接解除▽三溪園開園▽県立図書館、音楽堂開館
- 30年— 県主催、第一〇回国体開かれる▽野沢屋、松屋接解除▽第二京浜国道開通▽県中小企業会館開館
- 31年— センターピア(新港ふ頭)接解除▽横浜駅西口に相模名品街開く▽首都圏整備法施行▽戸塚有料道路開通▽野島公園開く
- 32年— 東神奈川駅前大火▽横浜工業用水起工式▽米サンティエゴ市と姉妹都市提携
- 33年— 開港一〇〇年祭式典▽横浜駅地下道開通▽日東化学横浜工場爆発▽英豪華船コロニア号(三万四一八三トン)、横浜港白灯台に衝突▽白風二号、帷子川・鶴見川はんらん
- 34年— 国電根岸線着工▽根岸埋立起工式▽大黒町埋立、食肉卸売市場開設▽シルクセンター開館▽仏リヨン市と姉妹都市提携▽第一七代市長に半井清当選▽横浜新道開通▽横浜市役所、中区港町に新

- 築▽山下岸壁の輸出専用ふ頭完成▽金沢区釜利谷、東洋化工横浜工場火災爆発、三人死亡▽第二京浜国道子安台で、火薬運搬トラックとタンクプカー衝突、四人死亡、九八人負傷▽トロリーバス運転開始▽戸塚じん芥処理場完成▽所得倍増計画決定、南公会堂、瀬谷青少年の家完成▽松風学園開所▽専用工業用水道創設▽横浜市民病院新築▽横浜公園体育館の歌謡ショーで二人圧死▽サンディエゴ市寄贈水の守護神像除幕式
- 35年— 横浜マリナーワー、開土ヶ谷公会堂新築▽鶴ヶ峰崩れ▽鶴見区役所、保土ヶ谷公会堂新築▽鶴ヶ峰浄水場完成▽日野墓地造成
- 36年— 人口一五〇万人突破▽中部下水処理場完成▽港の見える丘公園整備▽横浜市立港湾病院完成▽神奈川県七島町で八七棟焼く、市内戦後最大の火災▽京浜運河で第一宗像丸とノルウエー船が衝突、四〇人死亡▽横浜文化体育館オープン
- 37年— 山下ふ頭完成▽国鉄鶴見事故、死者一六一人▽第一八代市長に飛鳥田一雄当选▽城山ダム基礎式▽根岸湾埋立第一期工事完成
- 38年— 根岸線桜木町・磯子間開通▽三ツ沢サッカー場完成▽横浜駅西口のタイヤモンド地下街開店▽東京オリオンヒック▽市、電源開発株式会社と公害防止協定締結
- 39年— 市営バス値上げ(15→20円)▽南極観測船「ふじ」鋼管鶴見造船所で進水式▽港北区奈良町に子供の国開園▽鶴見区大黒町運河でタンカー爆発▽鶴見ゴミ焼却場完成▽横浜愛児センター完成▽第三京浜道路開通▽年間人口増最高の一一二万人
- 40年— 田園都市線(溝ノ口→長津田間)開通▽市電(15→20円)、市営バス(20→30円)値上げ▽市、コンテナ専用ふ頭建設地を本牧の第四突堤に決める
- 41年— 横浜市身体障害者福祉センター開業▽菊名小學校全焼▽一年ぶりの大雪、積雪一五cm▽この日本牧間門園にて山本周五郎(63)没▽市長、市会議員選挙、飛鳥田一雄、市長に再選▽港北区の住民、国鉄新貨物線建設に反対▽横断歩道橋六五か所建設▽花月園競輪場で放火、暴行事件▽市電のワンマン化はじまる
- 42年— 京ノ厚木間開通▽田園都市線長津田→つくし野間開通▽市の人口二〇〇万人突破▽桜木町ゴールデンスター開店▽市大病院本館完成▽多摩田園都市の学校用地問題解決、四校分東急負担、一六校分を市が買いとる▽横浜通商株式会社発足▽市、宅地開発事業を実施▽金沢地先埋立てマルク債発行▽地下鉄一号线着工▽高速道路横浜羽根線全面開通▽野毛山公園若松寮開設
- 43年— 市、都心部再開発のため、三菱重工横浜造船所の移転交渉を開始▽市、中期計画(44→48年)を発表▽県内広域水道企業団発足▽東名高速道路全面開通▽港北ニュータウン計画土地区画整理事業の区域・事業の決定▽戸塚区秋葉町に市の工業用水区配事件起る▽磯子ゴミ焼却工場操業開始▽本牧市民公園オープン▽港南・旭・瀬谷・緑の分区発足、市内一四区に▽コンテナ専用ふ頭完成▽根岸競馬場返還、森林公園を計画
- 44年— 市民ホール(旧横玉)オープン▽根岸線磯子→洋光台間開通▽市、柴漁業協同組合と漁業補償につき妥結▽アレハバ校舎ふえ小学校で四五二教室▽新都市計画法にもとづく市街化区域・市街化調整区域の区分(線引き)施行▽伊勢佐木町に平日も歩行者天国開始▽日本鋼管が扇島移転につき県・横浜市・川崎市三者協申入れの〇・〇一二ppm以下を了承▽横浜駅東口開発計画決定▽平沼記念体育館オープン
- 45年— 米軍富岡倉庫地区正式返還▽市、金沢地先埋立事業起工式▽市長、市会議員選挙、飛鳥田一雄、市長に三期当選▽根公園オープン▽市、仏大使とフランス山買収調印式▽異常潮位で西区平沼辺で五〇戸床下浸水▽市内初の休日急患診療所西区でオープン▽市独自の公害病認定制度発足(潮田・生麦地区)
- 46年— 米軍山手地区の返還終る▽市電トロリーバス全廃▽飯島市民の森・下谷市民の森・下水谷市民の森オープン▽カー・デーはじまる▽ことも自然公園オープン▽市営バス値上げ(30→40円)▽村雨橋で米軍重戦車輸送阻止▽米軍岸根兵舎地区、一七年ぶりに返還▽三保市民の森オープン▽市営地下鉄(上大岡→伊勢佐木長者町間)開通
- 47年— 1月— 日照等指導要綱実施
- 2月— 老人福祉センター菊名寿楽荘開設
- 3月— 久良岐公園オープン
- 4月— 市営バス値上げ(40→50円)▽根岸線洋光台→大船間開通
- 5月— 横浜市基本構想策定
- 6月— 旭環境センター(ゴミ焼却工場・老人福祉センター・温水プール)オープン▽希望ヶ丘地区センターオープン▽菊名池公園大プール誕生
- 7月— 本郷地区センターオープン
- 8月— 本郷地区センターオープン
- 9月— 第一次オイルショック
- 10月— 人口二五〇万人突破▽釜利谷市民の森オープン▽相鉄ジョイナス開店▽中央卸売市場南部市場開設
- 11月— 横浜市総合計画・一九八五決まる
- 12月— 農業緑地制度発足▽第二回アジア卓球選手権大会、文化体育館で開催▽旭区民会議発足
- 48年— 教育文化センター開館▽市、港北ニュータウン基本計画決定▽老人福祉センター蓬萊荘開設▽港南ゴミ焼却工場操業開始
- 49年— 磯子ヶ谷バイパス全線開通
- 1月— 保土ヶ谷市民の森オープン
- 2月— センター)オープン▽鶴見区のアジア石油六号棧橋でタンカー爆発
- 3月— 本牧ふ頭沖で、LPGタンカーとリベリア貨物船衝突炎上、二人死亡、二人行方不明
- 4月— 鶴見区のアジア石油六号棧橋でタンカー爆発
- 5月— 世界最大の英客船クイーン・エリザベスII号、大棧橋に入港▽富岡総合公園オープン
- 6月— 市長・市会議員選挙、飛鳥田一雄、市長に四選▽獅子ヶ谷市民の森オープン
- 7月— 英エリザベス女王、保土ヶ谷区狩場町の英連邦戦死者墓地参拝
- 8月— 消費者市場南部場外センター開設
- 9月— 桜木町駅前→山下公園に都心プロムナード完成▽中国客船離華号(二万二五トンの)の初入港
- 10月— 伊勢佐木町誕生二〇〇年祭▽九月の真夏日一七日となり明治三〇年横浜気象観測以来の新記録
- 11月— 事業所税実施

- 11 産業貿易センタービル完成
- 12 市営バス値上げ(50→90円、暫定70円)
- 51年
- 2月 横浜駅でノーポイ・デー実施
- 3 保土ヶ谷化学保土ヶ谷工場跡地の無機水銀汚染問題発生
- 4 相鉄、いずみ野線開通▽三保ダム定礎式▽瀬谷市民の森オープン
- 6 市、建築許可をめぐる日照汚職▽市、公害研究所開設
- 7 大岡川分水路一部完成
- 9 市営地下鉄上永谷▽横浜駅開通▽台風一七号、鶴見川上流地域などで三〇〇戸浸水
- 10 環境事業局南戸塚工場、温水プールオープン▽老人福祉センター翠風荘開設
- 52年
- 2月 大型店舗出店指導要綱制定▽特別養護老人ホーム磯子ホーム開設
- 3 横浜国際会議場完成
- 4 塩釜ガス横浜商業高校一帯でもれ、五七人中毒▽山内図書館、地区センターオープン▽水取沢市民の森オープン
- 5 緑下水処理場完成
- 7 米軍鶴見貯油施設に市の初の立入検査▽県都市計画地方審議会、東京湾岸道路了承、ベイブリッジ本決まり
- 8 市、新五か年指標公表▽市、窒素酸化物の総量規制実施▽一日間雨つづきの冷夏
- 9 米軍ジェット機緑区荏田町の宅地内につい落、幼児二人死亡
- 10 印鑑証明が登録カード制に変わる▽根岸森林公園・競馬記念公苑開園▽マリナード地下街オープン
- 11 円高対策で県・市、輸出業者に緊急融資制度実施
- 12 市道山下・長津田線の桜木町周辺開通
- 53年
- 1月 市内一五cmの大雪▽横浜大洋ホエールズ友の会結成
- 2 海の公園基本構想発表▽県、新神奈川計画策定▽川崎・横浜公害保健センター落成
- 3 飛鳥田一雄、日本社会党委員長就任に伴い市長辞職▽首都高速道路の横浜駅東口▽横浜公園間と高

- 速神奈川2号(三ツ沢線)開通▽コレラ菌鶴見川河口で検出▽神奈川下水処理場完成
- 4 第二代会市長に細郷道一当選▽横浜スタジアムオープン▽県教委、主任制公布▽大佛次郎記念館山手にオープン
- 5 横浜市の人口(二七二万四九六六人) 大阪を抜き全国第二位
- 6 横浜公園内チャペルセンター返還
- 7 米国独立記念花火大会、資金難で中止▽地方の時代シンポジウム▽三保ダム完成▽本牧の海づり施設オープン
- 9 大通り公園オープン▽南区に新婦人会館開設▽日吉地区センターオープン
- 10 ヨコハマさわやか運動スタート▽市営バス(90→110円、暫定100円) 地下鉄(初乗り70→90円) 値上げ▽横浜線の小机・中山間複線化▽戸塚センター(図書館・公民堂・地区センター) オープン
- 11 伊勢佐木モールオープン
- 54年
- 1月 市教委、「市立学校主任設置規則」を公布、施行
- 2 横浜駅舎東口の取り壊しに伴い、大時計の保存式典行われる▽外人船客の民間ガイドサービス組織
- 3 結成▽教育委員に元体操五輪選手池田敬子任命▽大黒橋架け替え工事完成▽第二次オイルショック南センター(老人福祉センター・地区センター) オープン▽冷凍コンテナ専用船、本牧ふ頭初入港
- 4 人形の家、産院センターに開館
- 4 横浜線十日市場駅開業▽市会議員選挙投票率五・二%で史上最低▽港北ニュータウン、第一回仮換地指定(第一地区)▽旧英国領事館買取▽万騎が原らびつこ動物園オープン
- 5 麻しんの予防接種無料化制度開始▽金沢埋立地に都市ゴミ資源再生利用プロジェクト完成
- 6 自治体レベル初の国際経済会議アジア地域経済交流会議開幕▽市営バスに冷房バス導入▽横浜市こども植物園オープン
- 7 瀬上市民の森、称名寺市民の森オープン▽第一回六都府市首脳会議埼玉県で開催▽米海軍鶴見貯油施設内ジェット燃料タンクに落雷、火災
- 8 国際児童演劇フェスティバル開催▽横浜国大工学部の移転終え、統合完了▽第一回全国中学校軟

- 式野球大会、横浜スタジアムで開催
- 9 サンティエゴ友好工芸展開幕▽第一回ヨコハマカーニバル開催▽養護老人ホーム名瀬ホーム開設
- 10 国鉄新貨物線(新鶴見)東戸塚間、開業▽寝たきり老人の入浴サービス開始▽一九七九年日本横浜工業展覧会、上海で開催、入場者一〇万人を超す
- ▽横浜駅東口の第一国道沿い、異常潮位と豪雨で道路冠水▽横浜西部総合保健センター完成▽第一回ポートセールス代表団、北米へ出発▽精神薄弱者更生施設「ひのき学園」開設▽ヨコハマさわやか運動の歌「ヨコハマさわやかさん」発表▽金沢下水処理場完成
- 11 開通前の南横浜、バイパスで市民マラソン大会開催▽相鉄ジョイナスで街づくり展開催▽赤い靴の少女像除幕式
- 12 精神薄弱児通園施設「さざんか学園」開設▽YCA T開業▽南横浜バイパス(横浜横須賀道路) 日野朝比奈間開通▽大岡川分水路・日野川トンネル貫通▽横浜市都心臨海部総合整備計画基本構想発表
- 55年
- 1月 鶴見図書館開館▽環境影響評価指導指針策定
- 2 市営地下鉄三号線、横浜駅▽新横浜駅開起工式▽東京湾横断道路海底ボーリング調査開始▽市営バス本牧り関内ルートにバス接近表示システムスタート
- 3 南区コミュニティ・カレッジ始まる▽港南地区センターオープン▽市、三菱重工業(株)横浜造船所の金沢移転に関する協定書に調印
- 4 戸塚斎場改築オープン▽横浜ボランティア協会、ボランティア電話開設▽横浜駅西口第二広場にバス接近表示システム稼動▽ミス横浜初の公開審査▽上大岡バスターミナル開設▽十日市場駅前、全国初の三階建自転車駐車場オープン▽環境アセス適用第一号横浜(ヘリポート)準備書縦覧▽宅地開発要綱改正
- 5 横浜港と米国オクラホカ州姉妹港提携▽金沢図書館・地区センターオープン▽第二回横浜・上海友好交流促進会議開催▽初の自動車専用公共岸壁大黒ふ頭にオープン
- 6 生活クラブ生協、合成洗剤追放の条例制定をもと

●年表/横浜の歩み

- める直接請求を市に提出▽横浜商工会議所創立一〇〇周年記念、東横浜1山下ふ頭開SL運転▽横浜市新総合計画策定方針発表
- 7— 母子・父子家庭介護人無料派遣ホーム・パートナ1制度スタート▽日本文化デザイン会議横浜会議開催▽海の公園人工砂浜オープン▽熊野神社市民の森オープン
- 8— 横浜高校、高校野球で全国優勝▽潮田中学、第二回全国中学校軟式野球大会優勝▽港北図書館開館
- 9— 初の六都県市合同防災訓練実施▽横浜スポーツ奨励賞制定▽一九八〇年中国中国工芸品展覧会開幕▽横浜マーチャングレインセンターオープン▽市民スポーツのついで開催▽常任委、合成洗剤に関する直接請求条例案否決
- 10— 東海道線・横須賀線分離運転スタート、戸塚駅に湘南電車停車、東戸塚駅開設し横須賀電車停車▽（助）横浜市シルバー人材センター発足▽港南スポーツセンターオープン▽菊名地区センターオープン
- 11— 精神薄弱居施設「なしの木学園」開設▽横浜駅東口ターミナルビル「横浜ルミネ」地下街「ポルタ」オープン、自由通路部分開通▽ヨコハマ農業祭開催▽瀬谷地区センターオープン▽横浜市国際障害者年推進協議会設置▽市少年自然の家南伊豆臨海学園オープン▽外人墓地一般公開▽横浜イェアリツツ起工式▽保土ヶ谷ゴミ焼却工場操業開始▽老人福祉センター「狩場緑風荘・瀬谷和楽荘開設
- 12— 末吉地区センターオープン▽横浜駅東口出島地区開発の事業主体「横浜新都市センター」設立
- 56年
- 1月— ノースドックに米軍艦入港、海兵隊員市中心部に上陸▽中区本牧小で日本語回復教室開設▽中国上海市曲技団横浜公演、曲芸パング・ウェイウェイ登場▽横須賀線保土ヶ谷駅改築なる
- 2— 神大寺地区センターオープンの市会運営委、特別委員会での質問時間、各会派ごとの持ち時間制採用決定
- 3— 北部地域シルバー人材センター事業開始▽横浜・川崎商工会議所、国土庁に工業等制限法緩和要望書提出▽南横浜バイパス、狩場・日野間開通
- 4— 鶴見区休日急患診療所オープン、一四区すべてに整備▽横浜市社会福祉センターオープン▽横浜国立大学留学生会館開館▽横浜海員会館改築オープン▽戸塚福祉授産所開設▽南区大岡川沿いプロナード完成▽昼休み戸籍窓口業務開始
- 5— 横浜市救急医療センターオープン▽大岡川分水路完成▽横浜港・パンクパー港姉妹港提携▽市営バス（110→140円、暫定130円）地下鉄、初乗り90→120円）値上げ▽京浜鶴見駅中心の線路高架化完成▽ほどがや地区センターオープン
- 6— 横浜開港資料館オープン▽市民病院がん検診センター開設▽障害者地域活動ホーム第一号のほどがや希望の家オープン
- 7— 横浜市海外交流協会設立▽横浜市都心臨海部総合整備計画基本計画発表
- 8— 養護教育総合センター開館▽市職員の障害者雇用に基本方針（雇用率四〇％目標）▽交流の船旅沖縄へ出航▽日野公園墓地隣接地の墓地造成竣工
- 9— 緑区田園都市線青葉台・藤が丘駅間デマンドバス発進▽小見アレキセンター開設
- 10— 横浜パトバンク開設▽横浜市都心臨海部総合整備計画の愛称「みなとみらい21」に決定▽在日米海軍小柴貯油所のタンク爆発炎上
- 11— 「みなとみらい21」計画、環境アセスの準備書縦覧開始▽新田地区センターオープン▽横浜駅東西自由通路全面開通、東口駅前広場もオープン▽第一回横浜マラソン大会、山下公園一本牧市民公園間で実施
- 12— 戸籍関係届け書類の一通化▽よこはま女性の国際フォーラム一九八二開催▽大正地区センターオープン▽港南区工業会発足（行政区別工業会第一号）▽横浜市新総合計画「よこはま21世紀プラン」確定
- 57年
- 1月— 五年九月の緑区米軍機墜落事故被害者、志志田（旧姓・林）和枝さん死去
- 3— 横浜へリポート完成▽金沢自然公園の一部オープン▽横浜市歯科保健医療センターオープン▽西区尾張屋橋全面開通▽久保山霊堂改築▽中区米軍住宅三施設返還▽京浜外貿埠頭公開解散し、横浜港埠頭公設設立
- 4— 大棧橋国際船客ターミナル無料開放開始▽シルクホテル、経営不振で閉鎖▽細郷道一、市長に再選▽西センター（公会堂・地区センター）オープン▽長津田地区センターオープン▽精神薄弱者更生施設「つたのは学園」開設▽職能開発総合センター・中福祉授産所開設▽金沢工業団地三号地集団進出第一号の工場完工式
- 5— 保土ヶ谷図書館開館
- 6— 帆船日本丸誘致保存促進会署名運動開始▽国際デー第一回よこはまどんたく▽国連・アジア太平洋都市会議開幕
- 7— 救急医療情報センター、健康福祉総合センター内にオープン▽西区ハマノ愛生園に高齢者ようす相談所開設▽県立武道館、岸根公園内にオープン
- 8— 国立横浜病院に救命救急センターオープン▽横浜港湾計画の改定▽消防局女子音楽隊誕生
- 9— 台風一八号で、鶴見川、柏尾川など決壊
- 10— 痴呆性老人、ホーム一時入所事業開始▽市婦人問題海外セミナー訪米▽第一回横浜縦断カヌーフェスティバル開催▽第一回みなと横浜秋祭り
- 11— 9年ぶりに自衛隊募集業務再開▽山下公園眺望権訴訟和解成立▽三保市民の森四か月ぶりに再開▽横浜市営バス五六年度決算で一五年ぶりに黒字決算▽横浜駅西口ビル「シアル」新装オープン
- 12— よこはま国際くらしの会議開催▽開港広場オープン▽市会本会議に質問時間各会派別持ち時間制導入▽生麦地区センターオープン
- 58年
- 1月— 神奈川区大口商店街火災▽県、改定新神奈川計画決定▽よこはま婦人問題国際シンポジウム開催
- 2— 若葉台地区センターオープン▽「みなとみらい21」中央地区土地地区画整理事業」都市計画決定
- 3— 第一回国際女子駅伝開催▽横浜線中山駅に橋上駅舎完成▽三菱重工横浜造船所横浜工場の本牧・金沢工場への移転完了

●横浜はいま

市民生活白書 昭和五八年

昭和58年3月発行

編集・発行 横浜市企画財政局

横浜市中区港町一丁目一番地(〒231)

電話(045)6712026・2027

印刷 山陽印刷株式会社

装丁・デザイン 株式会社光洋社

表紙・扉写真 天野裕之／森日出夫

七〇〇円